

## 伊豆の国市とイオン株式会社の「地域連携協定」締結について

伊豆の国市（市長：小野登志子）とイオン株式会社（代表執行役社長：岡田元也）は本日、「地域連携協定」を締結しました。

本協定に基づき、伊豆の国市とイオンは、観光・商業・農林畜産業の振興やライフデザイン、子育て支援など計9項目においてより緊密な連携を図り、地域の活性化、市民サービスの向上を図ってまいります。

本協定の取り組みの第一弾として、イオンは11月13日、「韮山反射炉WAON」を発行します。カード券面には世界遺産である「韮山反射炉」と韮山反射炉PRキャラクター「てつざえもん」をデザインしました。

イオンは、全国のWAON加盟店で本カードを使って支払われた金額の一部を伊豆の国市に寄付し、「韮山反射炉」の保全活動にお役立ていただきます。

本協定を機に、伊豆の国市とイオンはこれまで以上に連携し、地域の活性化や市民の皆さまへの新しいサービスの創出に取り組んでまいります。

### 記

#### 【「地域連携協定」の概要】

- (1) ICカード等の活用に関する事
- (2) 地産地消・農工商連携の推進に関する事
- (3) 観光情報・振興に関する事
- (4) 地域防災への協力に関する事
- (5) 健康増進、食育に関する事
- (6) 高齢者・障がい者支援に関する事
- (7) 子ども・青少年育成に関する事
- (8) 市政情報のPR・発信に関する事
- (9) その他、地域の活性化及び市民サービスの向上に関する事

#### 【「韮山反射炉WAON」の券面デザイン】



### 「葦山反射炉（にらやまはんしゃろ）」について

反射炉とは、金属を溶かし鑄造する炉のことで、実際に稼働した反射炉が国内で現存するのはこの「葦山反射炉」だけとなります。

1853年のペリー来航を受けて、幕府直営の反射炉として築造が決定され、同年、伊豆下田にて築造開始。翌年、築造場所が伊豆葦山（現在地）に変更され、1857年に完成しました。

2015年7月に葦山反射炉をはじめ国内23資産で構成される「明治日本の産業革命遺産」が、世界文化遺産に登録されました。

「葦山反射炉WAON」は、本カードのご利用金額の一部が、この遺産を末永く保全し、将来にわたり確実に守り続けていく活動への支援に役立てられます。

#### 【「葦山反射炉WAON」の概要】

- ・販売開始：2015年11月13日（金）
- ・販売場所：静岡県内のイオン7店舗及び静岡県・神奈川県・山梨県・愛知県のマックスバリュ東海135店舗で販売いたします。
- ・販売目標：3万枚
- ・発行手数料：1枚300円（税込み）
- ・WAON機能：チャージ可能金額 上限5万円  
（1回あたりのチャージ金額の上限は2万9,000円）

#### 【WAONの概要】

- ・累計発行枚数：約5,260万枚（2015年9月末現在）
- ・年間利用金額：約1兆9,300億円（2014年度）
- ・利用可能箇所：約22万5,000箇所（2015年9月末現在）  
※うち自販機・宅配便ドライバー端末 約14万3,000箇所